

皆さまへ

10年前の今日、未明から断続的に続いた大雨と雷で眠れない夜明けを迎えたことを思い出します。そして、ニュースを見て、現場に出て、大きな不安と同時にとにかく「なんとかしなくては」と思い、動き始めたことを思い出します。

この京都府南部地域豪雨災害では、2名の尊い命が失われました。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

多くの混乱の中で始まった、「災害時体制」での災害ボランティアセンターの運営では、多くのことに気づきました。

被災した人のことを思い、居ても立っても居られず駆けつけてくださったボランティアの方たち。

日夜、災害ボランティアセンターの運営で裏方となって活躍してくださった住民さんやボランティアさんたち。

マニュアル片手に、これまでの訓練を思い出しながら一緒に運営を担ってくださった運営委員の皆さん。

寄附や支援物資、ボランティアの呼びかけ、そしてスタッフとしても応援をいただいた府内外の社会福祉協議会や関係団体の皆さん。

「暑い」夏でしたが、皆さんの「熱い」思いと「厚い」信頼を感じ、たくさんの勇気と希望を得た夏でもありました。

あれから10年の月日が流れました。

以降、京都府内外で大雨や台風による災害、地震等の被害もありました。

そして今もなお、各地で災害は繰り返され、日々の暮らしを脅かしています。

10年前の気づきから、宇治市社会福祉協議会・宇治市災害ボランティアセンターは、災害時の活動はもとより、何も起こっていない今こそ「災害に強いまちづくり」の機運を高めていきたい、センターのことをもっと知ってもらいたい、多くの団体とよりつながっていきたい、地域住民の皆さんと災害時にも生きる普段のつながりをより強固にしたいと考え、活動を続けています。

これからも、宇治市社会福祉協議会・宇治市災害ボランティアセンターへのご理解とご協力をお願いいたします。

2022(令和4)年8月14日  
社会福祉法人宇治市社会福祉協議会  
宇治市災害ボランティアセンター  
代表 奥西隆三